

製本のススメ

Vol. 197

令和4年にはコロナ生活も2年を超えようとしています。緊急事態宣言は解除になったものの、新しいウイルスがまだまだ流行りそうです。マスク生活が普通になっていくのでしょうか

今回は「**中綴じの面付を覚えよう!①**」のお話です

中綴じ設備により版組みも変わると思いますが、今回は折から加工する事を基本にお話します。

手始めにまず**4ページ(二つ折り)から、中綴じの基本をおさらいしていきましょう。**

中綴じの機械は「鞍」と呼ばれる台座に置かれた刷り本を1台ずつタイミングを合わせて重ねていくように出来ています。この時に台座から刷り本を取り出すために**ラップ**(ツマミとも呼ばれる)と呼ばれる余白部分を機械が啜えます。**この幅(ラップ)は外トンボから更に5ミリ~10ミリ程度(冊子の厚みにより変わります)必要で**つまり二つ折りは紙をずらして折るようなイメージです。むろん内容はずらせませんので、**紙の余白を使いラップ部分を作ります。**この時**用紙に十分な余白部分が無いと製本加工に支障が出ます。**

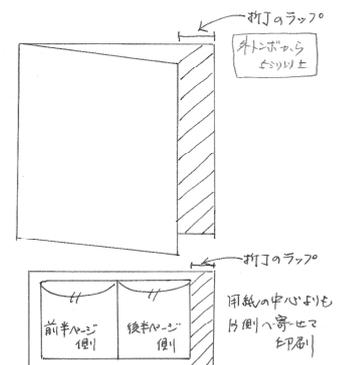
その為 既に正寸用紙での加工は大変困難です(コピー用紙等)

最近では用紙のサイズも小さい場合が多く 中綴じ加工が困難な場合も多くみられます

(例えば菊判ではなくA判での印刷など)この場合には**印刷位置を用紙の片側へ若干でも寄せてください。**

特に複数面付けの場合 その不具合が起こり易くさらに印刷側でその事に気づいていない場合が圧倒的です。

製本加工ではドブ幅以外にも加工に不可欠な用紙の寸法が有ります。仕上げ時に断裁されてしまう部分ですが、それまでは必要不可欠な部分なのです。



Teabreak

年越しは蕎麦ですね。「細く長く願いを込めて」と言われますが、一説では金細工職人が職場に飛び散った金粉をそば粉で練った団子で集め それを焼いて金を取り出していた事から【蕎麦は金を集める】という縁起の意味があったそう。また一緒に添えられる薬味のネギは「ねぐ」が語源とされ 祈るという意味が有る事から長寿や金運を祈願すると言われていたそうです。

弊社 HP は <http://www.isekiseihon.com>

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本